



NPO 法人チャリティーサンタ
Charity Santa

サンタ新聞

~ 2014 annual report ~

June 1, 2014-May 31, 2015



近藤 悠生

山田 立子

清輔 夏輝

渡辺 泉

おじサンタ
大島 巧

祝! NPO法人化

2008年にたった2人から始まったチャリティーサンタも、2014年にいよいよ法人化。
これからもたゆまぬ努力を続け、笑顔を生み出し、想いやりの連鎖をつなげていきます。

法人設立記念パーティーにて、理事5名の集合写真

はじめに

〜2014年度のご報告〜

様々な形で応援してくださる皆様、一緒に活動する仲間たちのおかげで、2014年度も無事に活動ができました。

2008年に活動開始したチャリティーサンタも、7年目。「最も試行錯誤した1年」。この1年を振り返るとそんな表現を思い浮かべます。

2014年は、公益財団法人日本ユースリーダー協会が主催する「若者力大賞」から「ユースリーダー支援賞(団体部門)」を頂くという、ビックリするユースからスタートしました。春には、いよいよNPO法人化。支部は年々広がり、全国21箇所。

そして、代表である私は、6月からチャリティーサンタから報酬をもらう形となり、専従職員となりました。

団体をこれからもずっと継続するため、成長していくために、チャリティーサンタを仕事にできる人を作っていこうと思いついていましたが、まずは自分自身がその第1号となりました。(年度の途中からは、もう1名が増員され、2015年6月時点では2名体制)

しかし、クリスマス・イブに一般の家庭から預かるチャリティーは、人件費ではなく「困難な状況にある子ども達のために使いたい」という当初からの変わらない想いがあります。

そこで、チャリティー以外からの収益を生み出しながら、団体のビジョンを達成する取組として、様々な事業をはじめました。

この報告書は、そんな私達の2014年の1年をギュッとまとめたものです。

私達が目指す社会、どんな想いでやっているのか、具体的にやっていることの全貌をまとめました。ぜひご覧になってください。

代表理事 清輔 夏輝

思

えば7年前の最初の年。感動と可能性を感じたことが懐かしくも昨日のようにも思えます。小さくも輝きを放った当時からは想像もできない地域に拡がり、活動の幅もひろがった法人化1年目の年度を終えました。社会的な変化が激しさを増すなかで、団体としても個人としても「どんな世の中を実現することが幸せなのか？」を考える必要性が増し、時にはお互い思い悩むこともあります。それでも、世界の共通言語である「サンタクロース」を通して社会に貢献する中で、一人ひとりの命が輝いて、互いを照らし合うことで1つの大きな道筋が出来ていくと信じています。過渡期でご迷惑をお掛けすることもあります。今後ともよろしくお願いいたします。

近藤 悠生

多

くの方に支えられ、活動7期目（法人設立一年目）を迎える事ができました。子どもは大人や社会を映す鏡。私達が目指す「子ども達が笑顔になれる社会づくり」には、社会の担い手である私達大人が健全な未来を作る事ことも含まれています。海外活動エリアのネパールでは、試行錯誤しながらも交流を通じて人々の笑顔を引き出せるという事を実感した最中、未曾有の大震災が発生しました。私達が彼らとどんな未来を作るのか、これから長い挑戦が始まります。皆様の「誰かを笑顔にしたい」という想いのバトンを受取ってリレーしていく、そのバトンのずっしりとした重さを実感した法人一年目。支えてくださる皆様へこの場を借りて厚く御礼申し上げます。

山田 立子

『子

どもたちが笑顔になれる社会づくり』を掲げ、NPO 法人としての初年度。大きな感動と不安のなか、幸いにもさまざまな方面の方々からたくさんのご指導、ご協力を賜うことができ、我武者羅ながらもテイクオフすることができました。この場をお借りして、皆さまに感謝申し上げます。

でも、私たちはまだ始まったばかりです。

ビジョンとなるサンタクロースのようなあたたかい人づくりは、今を共に生きる人たちへだけでなく、未来の人たちへの贈りものでもあります。この悠久のプロジェクトは、少しずつでもよりたくさんの人たちの手によって創られて行くことに意義があると考えています。それぞれの関わる形で、末永いご支持を戴けますようお願い申し上げます。

おじサンタ 大島 巧

チ

ャリティーサンタでは、多くの方が「自分の大切にしたい何か」のために働きかけてくれています。それは子どもの笑顔であったり、大好きな地域であったり。この多様化する世の中で、自分たちで行動しなければならない課題や場面が増えました。ですが、困ったこと・大変なことも、自分の隣のことだと思えば、自然と手を差し伸べることができるのだと思います。社会貢献という堅苦しい言葉でなく、「自分の隣に働きかける」ことが社会に繋がる一歩目だと感じています。

関わってくれた全ての方の「隣の笑顔を想う気持ち」をどう繋げていくか。応援してくれる皆さんと一緒に、しっかりと形にしていきたいと思います。皆様に心からの感謝をこめて！

渡辺 泉

私達のミッション・ビジョン



「世界中の子どもたちを笑顔に」。その想いだけで始まったチャリティーサンタも、活動が続く中で、「団体としてのミッション・ビジョン」を見直してきました。

私達の想い（＝ミッション）を中心に、叶えたい社会（＝ビジョン）を描き、それを叶えるために活動や事業を行っています。

各活動や事業の詳細は、報告書内のページにて紹介しています。

事業・活動紹介

サンタ活動 (P.04) / 社員サンタプロジェクト (P.05) / チャリティー活動 (P.06-07) / サンタクロースからの手紙 (P.08) / キッズサンタプロジェクト (P.08) / オリジナルサンタ衣装の生産・オーナー制度 (P.12) (今回は非掲載) → 児童養護施設プロジェクト / サボタクロース / 出版プロジェクト / and more...



1,775人のサンタさんが4,434人の子どもたちに

夢

を届けた

2014年のクリスマスイブに起きたエピソードをご紹介します!

*サンタさんが来た思い出は永遠

今日は素敵な時間をありがとうございました！
うちはお兄ちゃん9歳、弟2歳...とちよつと年の離れた兄弟です。お兄ちゃんが小さい頃から、喜ぶ顔を間近で見たいと、毎年試行錯誤しながらクリスマスを楽しんでいました。お兄ちゃんももう9歳になり、そろそろ学校ではサンタなんていないよ！というお友達もいるようです。かと言って、弟はまだサンタさんわからない年齢。今年はどうしようか。と主人と話して、今日！ いよいよサンタさんとご対面の日。お兄ちゃんには、今日きてくれるチャリティーサンタさんはね、みんなにプレゼントを運んでくれるおじーちゃんサンタさんの見習い弟子なんだよ。

まずは地上でプレゼントを配ることに合格しないと、空でトナカイと一緒に飛ぶんだよ、と説明してました。弟の方はまだわからないので、当日まで毎日サンタさんの植え付け作戦。結果、今日！

お兄ちゃんもサンタさんの存在を信じ、もらった本を大事に抱えベッドの脇において眠りました。

弟は、パパの抱っこを必要としましたがサンタさんの前にいることができました！



なにより、今回のサンタ訪問のさい、プレゼントの渡し方に指定をさせていただいたのですが、本当にきちんとやって下さって、サンタさんとバイバイしたあと、プレゼントをあけた子ども達の喜ぶ顔が、今回チャリティーサンタをお願いして良かったなあと思わせてくれました。

悲しいことに、おもちゃはいつか飽きて、遊ばなくなってしまうものだと思います。

けれど、今日、うちにサンタさんがきてくれた！という記憶は、いつまでも思い出として残ってくれと思います。

そんなかけがえない時間をプレゼントしてくれたチャリティーサンタさん、本当に感謝しています。

家族そろって、幸せな時間を過ごせました。

ありがとうございました！

*サンタになって魔法が使えた日

ある男性スタッフは三年連続で同じご家庭にいつています。

そのおうちのおねえちゃんが水泳を一生懸命やっているそうです。

「タイムをもう少し短くしたい...！ サンタさんお願いします。」

実際にチャリティーサンタでは、その子からのお手紙も貰っていました。

一生懸命な頑張り屋の女の子で、チャリティーサンタの(サンタ以外の)活動にも参加してくれていた子です。

お母さんは、

「サンタさんにはそんな力はないかもしれないけれど、是非はげましてほしい！」

というメッセージをもらっていました。

しかし、実際におうちにくくと、本当にほしいものと言わなそう。

二番目のお人形を渡しながら、サンタさんはこう思い

ました。

「ああ、おねえちゃんだから、弟たちの前で我慢してるんだな」

なので、兄弟全員に渡した後、その女の子に小さくききました。

「なにがサンタさんをお願いしたいことがあるんじゃないかな？」

そうすると、ちよつと涙がウルツとなつて、

「水泳のタイムを短くしたい」

と教えてくれたそうです。

(どうしよう。僕は本物のサンタさんじゃないから、水泳のタイムを短くしてあげられない。でも、この子の夢を応援したい...！)

「そうか、じゃあ、魔法をかけるよ。でもね、これは水泳のタイムが短くなる魔法ではないんじゃない。〇〇ちゃんが、頑張るのを応援する魔法じゃよ。いっぱいがんばり、いつも頑張っておるね。その頑張り、きつと力になるからね。」

そういつて頭にポン、と魔法をかけたそうです。

サンタになったスタッフはその子達の成長を毎年楽しみにしていて、背が高くなつていて、だとか、様子の変化を楽しそうに伝えながら、その子たちに伝えられる想い、みたいなものをすごく真摯に語ってくれました。

もう、本当に本物のサンタさん。

こんなサンタさんと毎年会えること。

みんなが「ああ笑顔がかわいくつてー...！」とか、「すくき喜んでくれてうれしかった！」という声をいっぱい聞けるのがすくきすくきうれしい。

本当に幸せをいっぱいありがとう！

また来年！

メリークリスマスー！！





コラボレーションの裏側

東京ミッドタウンにて、
ヤフー社員100名以上が出演!

企業コラボで見た「新しい可能性」

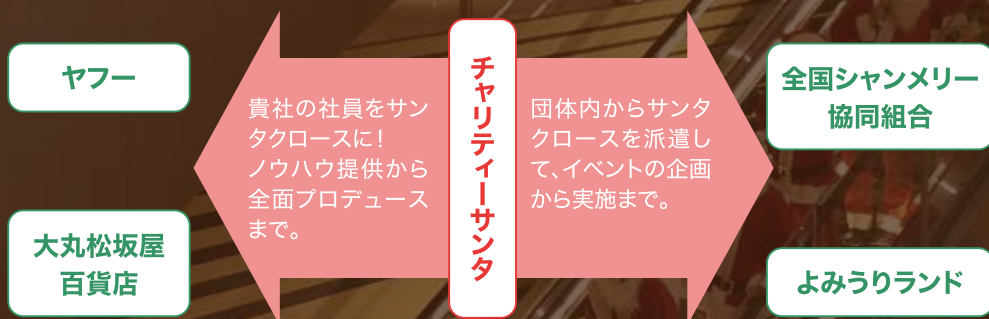
チャリティーサンタは、一般の方が一般家庭を訪問する市民参加型のチャリティー活動として始まりました。市民活動としては全国へ広がりつつありますが、私達はそれ以上に世の中にもっと「サンタクロースのような人を増やしたい」という想いでいます。

法人化に伴い、任意団体の段階では控えていた企業との取組が本格的にスタートしました。本年度は、昨年から続いている(株)よみうりランド様とのキッズサンタパレード企画に加え、新たに3社と協働した取組を実施し、サンタクロースのような人を増やす事で世の中に良い連鎖を

生み出せる可能性の大きさを感じています。

ヤフー(株)様は「ヤフーショッピングを利用しているお客様とヤフー社員の距離が遠くなっている、お客様の顔が見えない」という課題があると伺ったことから「ヤフー社員がサンタになれるクリスマス」を提案・実施しました。

社員がサンタになれば、実際にお客さんにプレゼントを届け、本物の笑顔に触れることができます。まさに、チャリティーサンタのモデルを活用することで同社の課題が解決される。サンタになった社員も、届けた家庭の子どもご家族も笑顔の連鎖につながりました。事後のアンケートでは参加した社員・訪問したご家庭両方から想像を大幅に上回る満足



度が得られたそうです。この取組はヤフー社内の表彰制度で、数あるプロジェクトの中から「社長賞」を受賞する取組となりました。

(株)大丸松坂屋百貨店様は、長らく販売フロアでの仕事を離れている社員の方がサンタクロースになることで、改めてプレゼントを手にする方の笑顔に直接触れる事ができ、百貨店とは「人の笑顔に関わる素晴らしい場所」であることを再確認していただける取組みとなりました。

今回関わらせていただいた2社以外にも、まだまだ対象となる企業や社員の方はいらっしゃるのではないかと考えています。

(一社)全国清涼飲料工業会様が組織する全国シャンメリー協同組合は、全国の児童養護施設のクリスマス会を応援するためにシャンメリー贈呈事業を行っており2014年はその10周年でした。10周年の記念事業に特別なプレゼントをしたいとのご相談を受け、我々のサンタクロースとしての経験を評価していただい結果、オリジナルラベル(施設の皆様の画像をプリントしたラベル)のシャンメリーとプレゼントをチャリ

ティーサンタのサンタクロースが直接子ども達のもとへお届けさせていただきました。

今後もこのような取組を強化しながら、行政や大学などとも連携していければと考えています。

児童養護施設にて



よみうりランドにて

ヤフー社内アワード受賞の様子





「ナース」や「先生」といった将来の夢を書いた葉っぱ



心の交流が創りだす、 「Our Remember」

ネパールのタマルジュン村では、子ども達に習字や折り紙、お箸などといった日本文化の紹介や手洗いのやり方を学ぶネパール語の劇を行いました。村での滞在はすべてホームステイ。「旅の指差し会話帳」を駆使してコミュニケーションを図りますが、踊りが大好きなネパール人との一番の交流は一緒に踊る事。今回私達は「炭鉱節」を練習して村の子ども達に教えてきました。ニルマルボカリ村の学校では「Dream Tree Project」と題し、クラス皆でひとつの「夢の木」を作るアートの授業を行いました。ネパールの学校には美術や体育といった授業がほとんどありません。初めて経験する授業に子ども達はワクワクしながら取り組んでいました。子ども達の夢の話の聴くと「この学校の先生がとても良い先生だから」「家族が病気になった時に助けてくれたから」と目を輝かせて語り、身近な大人の姿に影響を受けて夢を描いている事がよくわかりました。

クリスマス笑顔から、 世界中の笑顔へ繋がる 「チャリティー活動」

●実施期間：2015年2月10日～22日 ●参加人数：13人 ●活動エリア：パルパット郡タマルジュン村、カスキ郡ニルマルボカリ村 ●実施内容：ホームステイ、幼稚園での日本文化紹介、小学校でのアートプログラム「Dream Tree Project」、コーヒー収穫体験など ●協力団体：パルパット郡クスマに赴任中の青年海外協力隊の皆様、NPO法人福岡ネパール児童教育振興会様



子ども達に日本の文化を紹介しました

活動費報告

 プロジェクト費用：32,410円（為替レート1円=0.825ルピー）。このプロジェクトは2013年度までのクリスマスイブのサンタ活動による寄付収益で実施されました。



ネパールを襲った 大震災



建物の復旧には時間がかかりそうです



ホームステイをした家も、何軒か倒壊しました

2015年4月25日、ネパール中部を中心にM7.9の地震が発生しました。私達は震災支援用の「サンタフレンド基金（仮称）」を開設し、これまで縁のあった子ども達を中心に支援していく予定です。（※基金の口座は現在準備中です。）

「facebookで応援メッセージを募集中！」

集まったメッセージは、プリントしてネパールを訪問する際に子ども達へ直接届けます。



メッセージ投稿はこちら



クリスマス試験紙の実験に真剣です



生徒達と一緒に川の清掃を行っています



ネパールの ゴミ問題を考える

ネパールの首都・カトマンズを訪れると、ゴミの量に驚かされます。市内を流れる川も20年ほど前まで泳げるほど綺麗だったそうですが、そこへ平気でゴミ捨てたり唾を吐いたりするネパール人や外国人観光客の姿を多く見かけました。更に大きな問題だと感じたのが小さな子どもが無意識にゴミ捨てをしていること。小さい頃からの習慣は、大人になってもなかなか抜けません。私達はネパールの公立学校の先生に相談し、生徒と一緒にネパールのゴミ問題を考える体験授業を実施しました。川の清掃活動と、カトマンズ市街の水源地であるスナドリジャル国立公園の水と市街地の川の水を比較実験をしてみて、汚れの違いを確認した生徒からは「自分たちが普段生活で使っている水がいかに汚れているかがわかった。家に帰ったら家族ともこの問題について話し合いたい」という感想があり、この経験がネパールのゴミ問題に目を向ける小さなきっかけになっただろうと思います。

活動費報告

 プロジェクト費用：262,273円（為替レート1円=0.825ルピー）。このプロジェクトは2013年度までのクリスマスイブのサンタ活動による寄付収益で実施されました。

●実施期間：2015年2月21日～26日 ●参加人数：9人 ●活動エリア：カトマンズ ●実施内容：スナドリジャル国立公園での水質調査実験、川沿いのゴミ拾い、文化交流など ●協力団体：NGO ブルービーの皆様、カトマンズ公立学校の教職員の皆様



地域子ども達にも「生きる力」を



福岡・北九州支部合同で「地産地消農業体験チャレンジツアー」を実施しました。例年行っている「生き×活きキッズツアー」の派生版として、福岡県内の子ども達を対象に、畑の中で遊びながら学ぶ農業体験をします。収穫した野菜を畑でそのまま食べるなど、貴重な機会に子ども同様にスタッフも大興奮でした。

- 実施期間: 2015年3月21日～22日 ●参加人数: 16人 ●活動エリア: 福岡県福津市津屋崎町
- 実施内容: 農業収穫体験、お料理体験 ●協力団体: 三粒の種合同会社様、津屋崎町の皆様

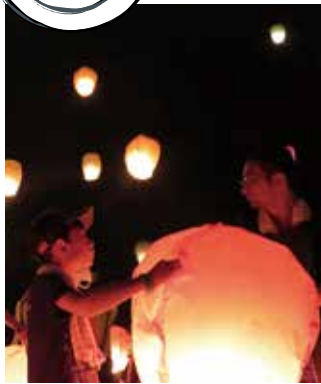
活動費報告



プロジェクト費用: 236,846円。このプロジェクトは、平成26年度子どもゆめ基金の助成を受け、実施されました。



子ども達の「生きる力」を、岡山で育む「自然と人のチャレンジツアー」



願いを込めてスカイランタンを飛ばしました



外で思い切り泥遊び、福岡の子ども達にとっては貴重な機会となりました

「生き×活きキッズツアー」の大きなテーマは「子どもたちの生きる力を育む事」。昔は山に入って秘密基地を作ったり、田んぼに入ったりカエル捕まえたり...一生懸命遊ぶ中で試行錯誤し、時には危険なことにチャレンジし、怪我をした経験から身を持って学ぶような「活きた遊び」が身近に沢山ありました。

震災以降、外で遊ぶ機会が減ってしまった福岡の子ども達は、そんな経験をすることさえ難しくなりました。ツアー期間中は岡山の大自然の中で思いっきり遊び、子どもたち同士で協力し、考え、発見することに全力投球します。この経験が大人になったときの「生きる力」となり、楽しい思い出を胸に想いやり溢れる大人に育ってくれること、子ども達の未来が幸せに溢れることを願いながら夏を過ごしています。

活動費報告



プロジェクト費用: 1,154,662円。このプロジェクトは2013年度までのクリスマスイブのサンタ活動による寄付収益で実施されました。

- 実施期間: 2014年8月10日～15日 ●参加人数: 23人 ●活動エリア: 岡山県美作郡上山集落 ●実施内容: 田んぼ遊び、流しそうめん、集落のお祭り体験、スカイランタン、キャンドルナイトなど ●協力団体: 上山集落の皆様



実際に子どもたちに贈られたキッズニアギフト券

チャリティーサンタ、児童養護施設へ！



手書きのメッセージを添えて贈りました



今年度は初の児童養護施設訪問が実現しました。施設の方と相談し、プレゼントは子ども達の未来の職業の道しるべとなることを願って、テーマパーク「キッズニア」のチケットに。もちろん、今年一年がんばったことをほめるサンタからのメッセージ付。3月にサンタの服を脱いで付き添ったキッズニアでは、満員電車に興奮したり、夢中になって大人の仕事を体験する子ども達の楽しそうな様子を見る事ができました。

- 実施期間: 2014年12月24日、2015年3月21日 ●参加人数: 8人 ●活動エリア: 都内養護施設、キッズニア ●実施内容: クリスマスイブのサンタクロス訪問、プレゼント贈呈、キッズニアへの引率など ●協力団体: 養護施設職員の皆様

活動費報告



プロジェクト費用: 216,984円。このプロジェクトは「Yahoo! ネット募金」と「サンタクロスからの手紙」事業による寄付収益で実施されました。



東北の大好きな人から学ぶ「当たり前」のありがたさ



ウッドデッキを作るボランティアをしています

「私達は、悔しいんです。」桜ライン311の方は津波の最高到達点に桜の植樹をする理由をこう切り出しました。東北には、もう二度と自分達のように大事なものを失って悔しい思いをする人がでないよう、3・11から学んだ事を伝え続けてくれている人達がいまいます。今回参加したメンバーの約半分が初めて東北地方を訪れましたが、温かいもてなしに皆東北が大好きになりました。そんな大好きになれた東北の方々が重い口を開いて震災について話してくださった時、今ココにある幸せは当たり前ではない事を強く受け止め、身近な防災について考えるきっかけとなりました。

- 実施期間: 2015年3月20日～22日 ●参加人数: 25名 ●活動エリア: 気仙沼、陸前高田、南三陸 ●実施内容: リアスアーク美術館見学、被災跡見学、語り部さんのお話とワークショップ、漁業体験、ボランティア活動など ●協力団体: せんだい・みやぎネットワーク 冒険あそび場様、桜ライン311様、長洞元気村様、その他東北で出逢ったすべての皆様

活動費報告



プロジェクト費用: 659,743円。このプロジェクトは、ツアー参加者の参加費によって実施されました。(チャリティーを使用しておりません)

サンタのような人を増やすとは？

年齢や状況に応じて
様々な切り口から
参加することが
可能。



新しい取り組みを準備中

サボタクロース

サンタ活動（サンタになる）

未来の手紙（p.09 参照）

キッズサンタ

サンタクロースからの手紙

サンタ活動（サンタが来る）

サンタクロースの階段

私達は、活動をはじめてから、サンタクロースは「誰かを笑顔にしたい気持ち（を行動に起こせる人）」だと考えるようになりました。

一人ひとりのアクションは小さくとも、「誰かを笑顔にしたい」という想いをもって行動する人が増えていけば、身近な問題も、世界で起きている問題も、もっと解決しやすくなるのではないかと考え、私達は「サンタのような人を増やすこと」をビジョンに掲げました。

私達の描く「サンタのような人」は、大きく2つの姿があります。1つ目は「目の前の人に手を差し伸べられること」。2つ目は「遠く手の届かない人に、想いを馳せられること」。

まさにサンタクロースだと思いませんか？ 同時に、この2つは「どんな人でも、でき得ることである」と信じています。

そして、私達が活動や事業で行うすべては、「サンタのような人を増やす」ということにつながっています。このページでは、その中から、新たに始めた取組を中心に紹介します。

サンタクロースからの手紙



これまで行ってきたサンタ活動では届けられない、日本全国のエリアにも対応するためにスタートした事業

です。サンタクロースから子どもたちへ「一人ひとりオリジナルの手紙」と「魔法のカギ」が届くサービスです。「ウチにはエントツがないのに、サンタさんはどうやって入ってくるの？」という子どもたちの疑問に答えた「魔法のカギ」は、とても好評でした。

親戚やお友達のお子さん、社員や部下のお子さんへのギフトとしてもご利用頂く方も多数。また、売上の一部が寄付となり、児童養護施設の子どもへのクリスマスプレゼント代に充てられます。一通の手紙で、自分の子どもと児童養護施設の子どものサンタになれる仕組みです。

キッズサンタ



チャリティーサンタを呼んでくれていたある親御さんから「こんなことはできないの？」という一通のメールから始まった取組です。子どもたちが老人ホームなどで生活するおじいちゃん・おばあちゃんのために、サンタさんになって「誰かを喜ばせ、感謝される体験」を経験します。それがサンタのような人への一歩を踏み出すことにつながる、未来への想いよりの種まきをするプロジェクトです。2014年は、横浜支部でテスト的にスタートし、手作りのラスクを作ったり、クリスマスソングの練習をしたりして、老人ホームを訪れました。子どもはもちろんおじいちゃん・おばあちゃんも涙するほど喜んでもらえ、これから徐々に全国に広がっていくと考えています。



未来の子どもたちへの手紙

突然のことではびっくりしたかな？
これからする告白は、あのクリスマスの日のできごとです。
大人の仲間になったキミに、あの日のことを話す時がきました。
こころの準備はいいですか？ さあ、はじめましょう！

2014年の12月24日。キミはサンタに会ったことを覚えていますか？
そう、ワタシはあの時の「サンタクロース」。
あの日、キミの家族がキミを喜ばせようとワタシにプレゼントをたくして、
それを持ってキミに会いに行ったのです。
でも…実はあれは1軒いくらかのチャリティーをもらうことで、キミだけじゃなく、
東北やネパールの子どもたちも笑顔にしよう、というチャリティー企画だったのです。
それを「ステキだね」って言ってくれたキミの家族が
ワタシたちを呼んでくれたというわけです。

キミの家族がキミとだれかの幸せを願ってくれて、
クリスマスにはたくさんチャリティーがあつまりました。

そしてそのチャリティーで
東日本大震災を経験した子どもたちとネパールの子どもたちに
「未来への希望」と「笑顔」をプレゼントすることができました。

キミがこの手紙を読んでいる頃には、
あの子どもたちも、未来をつくる若者として成長しているでしょう

サンタがキミのおうちに来たあの日。キミの家族や、実はキミ自身が
東北やネパールの子どもたちのサンタになっていたのです。
キミを喜ばせたいと願う家族、そしてなによりキミがいたから
世界中の子どもたちへ「笑顔というプレゼント」を届けることができました。
本当に、本当にありがとう。

今キミにとってサンタクロースはどんな存在ですか？
ワタシはキミのサンタになって、
キミとキミの家族や東北やネパールの子どもたちと出会えて気づきました。
「だれかを笑顔にしたいって気持ち」が「サンタクロース」なのかもしれないって。

大きくなったキミへ 2014年のサンタクロースより



チャリティーサンタを呼んでくれた
ご家族の皆様へ

お子さまをいつも近くで見守るご家族
から、時を見て、同封した封筒（未
来の手紙）を渡してあげてください。
自分を喜ばせるために依頼してくれ
た、というご家族からの愛情を、将
来子どもたちが感じるキッカケにもな
れば良いと思っています。

「サンタクロースは、現実には存在しないんだ…」
子どもたちが、いつかそう思ってしまう時が残念ながら来てしまいます。
私達は、そんな時のために、この手紙を準備して、各家庭へお送りしています。
「サンタはいないのではなく、『誰かを笑顔にしたいって気持ち』がサンタクロース」なんだよ。
サンタはみんなの心の中に居るんだよ。」ということ子どもたちに伝えたい。
「誰かの笑顔を願って、何かをすることは素敵なことだよ」
というメッセージが伝わり、想いやりを持って行動できるようになってくれたら…。
そんな子どもや大人が増えていってくれたら、未来の社会が明るくなっていく。
そんな想いがこもった「未来の手紙」です。

6年ぶりのテレビ出演に至った想い

2014年12月、NHKの『NEWS WEB』でチャリティーサンタを知った
という方も多いのではないのでしょうか？ 2008年に一度だけ出演して以
来、私達はテレビでの露出は一切お断りし続けてきました。露出が増え
ば、それだけ子ども達の目に触れる可能性が高まります。

メディア出演を止めたのは、子ども達のサンタクロースを信じる気持ち
を何よりも大事に思ったからでした。

実は、これまで何度か出演オファーがありました。有名な朝の情報版組
をはじめ、お昼のワイドショー、BSのドキュメンタリーなど…。出演して
いたら、世間に認知され、もっと活動しやすくなったかもしれません。

一方で「もっと早く知っていれば申し込んだのに」という声も数えざ

ないほど頂きました。「子ども達の夢を守る事」と同様に「待っている子
ども達のところへ行く」事も私達にとっては重要なことでした。

NHKさんとは、数ヶ月かけて放送内容を話し合った結果、スタッフの皆
さんも全力を尽くしてくださり、報道番組にも関わらず子ども達の夢を
守る為の配慮をして放送頂きました（12月25日にはイブの活動状況も放送
されました）。

6年間、様々な視点から議論を重ね、放送時間は23時以降、事前に内
容をすり合わせる事などを条件とし、これからは全く出演しないのではな
く子ども達の夢を壊さずにテレビ放送を活用する方向へ徐々に変更してい
く予定です。

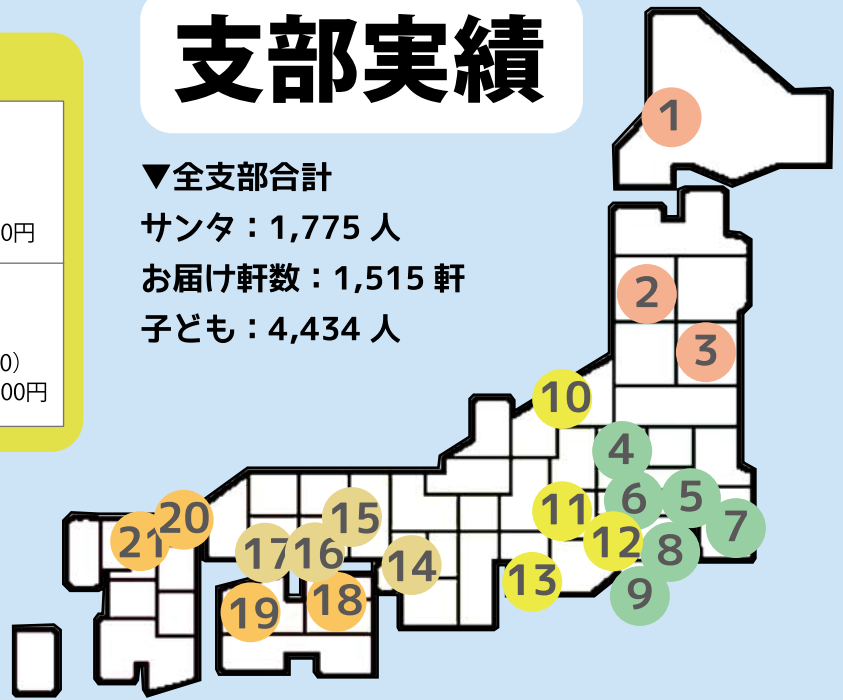
支部実績

▼全支部合計

サンタ：1,775 人

お届け軒数：1,515 軒

子ども：4,434 人



※お届け軒数の括弧内の数字は子どもの数です。パーティや幼稚園などの訪問数も含みます。

中部

(10) 上越支部

サンタ：7
お届け軒数：2 (5)
チャリティー金：4,000円

(12) 都留支部

サンタ：22
お届け軒数：6 (14)
チャリティー金：12,000円

(11) 甲府支部

サンタ：96
お届け軒数：85 (160)
チャリティー金：164,000円

(13) 名古屋支部

サンタ：122
お届け軒数：103 (250)
チャリティー金：199,500円

近畿・中国

(14) 大阪支部

サンタ：103
お届け軒数：77 (107)
チャリティー金：111,000円

(15) 津山支部

サンタ：15
お届け軒数：5 (48)
チャリティー金：10,000円

(16) 岡山支部

サンタ：73
お届け軒数：62 (321)
チャリティー金：108,500円

(17) 広島支部

サンタ：102
お届け軒数：52 (204)
チャリティー金：105,000円

四国・九州

(18) 香川支部

サンタ：88
お届け軒数：43 (595)
チャリティー金：86,000円

(19) 愛媛支部

サンタ：37
お届け軒数：18 (41)
チャリティー金：38,000円

(20) 北九州支部

サンタ：63
お届け軒数：28 (60)
チャリティー金：52,000円

(21) 福岡支部

サンタ：108
お届け軒数：98 (200)
チャリティー金：156,000円

関東

(4) 群馬支部

サンタ：33
お届け軒数：22 (42)
チャリティー金：44,000円

(7) 千葉支部

サンタ：48
お届け軒数：68 (135)
チャリティー金：124,500円

(5) 東京支部

サンタ：309
お届け軒数：364 (518)
チャリティー金：469,500円

(8) 横浜支部

サンタ：93
お届け軒数：121 (204)
チャリティー金：164,000円

(6) 多摩支部

サンタ：30
お届け軒数：41 (54)
チャリティー金：83,000円

(9) 湘南支部

サンタ：65
お届け軒数：43 (72)
チャリティー金：89,000円

北海道・東北

(1) 札幌支部

サンタ：58
お届け軒数：26 (44)
チャリティー金：57,700円

(2) 秋田支部

サンタ：99
お届け軒数：46 (100)
チャリティー金：108,500円

(3) 仙台支部

サンタ：84
お届け軒数：51 (374)
チャリティー金：113,596円

< 活動推移グラフ >



2014年度収支報告 (2014 年 6 月 1 日～2015 年 5 月 31 日)

支 出	①支援活動（福島）	1,154,662
	②支援活動（ネパール）	294,683
	③各支部の活動費（12/24 関係）	1,308,068
	④オリジナル衣装	1,850,688
	⑤サンタからの手紙	793,455
	⑥企業との取り組み	252,588
	⑦児童養護施設	216,984
	⑧出版	370,656
	⑨クラウドファンディング	113,000
	⑩人件費	3,257,000
	⑪その他雑費	255,178
	合計	9,866,962

- ①支援活動（福島）
「福島生き×活きキッズ～自然と人とのチャレンジツアー」 催行のための費用。
- ②支援活動（ネパール）
ニルマルボカリ村でのアートの授業とカトマンズの公立高校の生徒とゴミ問題を考える体験授業を催行するための費用。
- ③各支部の活動費
(内訳)
・消耗品費：241,864円
・賃借料：750,690円
・印刷製本費：79,490円
・通信運搬費：84,176円
・保険料：46,262円
・旅費交通費：102,810円
・支払手数料：216円
・雑費：2,560円
- ④オリジナル衣装
(株)ナルミヤ・インターナショナル協力の元、自主生産したオリジナルサンタ衣装に係った費用。
- ⑤サンタからの手紙
サンタクロースから子どもたちへ「一人ひとりオリジナルの手紙」と「魔法のカギ」が届くサービスを作る際にかかったデザイン費、素材費、印刷費、送料など。
- ⑥企業との取り組み
(株)よみうりランド、ヤフー(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、全国シャンメリー協同組合のクリスマスイベントをプロデュースする際に係った費用。(人件費、システム・デザイン利用料を除く)
- ⑦児童養護施設
都内の児童養護施設の子ども達へ「サンタさんとのクリスマスの特別な体験」と「体験ギフト」をプレゼントする際に係った費用。
- ⑧出版
「サンタクロースが届けてくれた心温まる物語（あさ出版）」を自主販売するための購入費用。
- ⑨クラウドファンディング
「ネパールの子ども達に夢と笑顔を!ネパール支援プロジェクト」で、クラウドファンディングサービス「makuake」で頂いた寄付金から捻出した、ネパールツアーの企画・運営を担ったメンバーの渡航費用。
- ⑩人件費
代表理事の報酬と事務局職員の給与。
- ⑪その他雑費
事務局の管理費や印刷製本費、消耗品費、通信運搬費、支払手数料などの費用。

収 入	①チャリティー金	2,299,796
	②支部活動における①以外	1,271,234
	③サンタからの手紙	806,700
	④出版	1,787,760
	⑤サポタクロース	247,000
	⑥企業との取り組み	2,094,811
	⑦寄付	1,423,344
	⑧クラウドファンディング	284,256
	⑨講演活動	537,743
	⑩Yahoo! ネット募金	312,450
	合計	11,065,094

- ①チャリティー金
クリスマスのサンタ活動で預かった寄付金。
- ②支部活動における①以外
(内訳)
参加費 709,368円
(チャリティーサンタの主催する活動の参加費です。主に会場費や当日に係る諸経費、ボランティア保険代などに充てられます)
協賛金・寄付金 561,866円
- ③サンタからの手紙
サンタクロースから子どもたちへ「一人ひとりオリジナルの手紙」と「魔法のカギ」が届くサービスにお申込み頂いた収入。
- ④出版
「サンタクロースが届けてくれた心温まる物語（あさ出版）」の印税と自主販売した収入。
- ⑤サポタクロース
「チャリティーサンタを応援したい」という方のための、サポーター+サンタのサービスにお申込み頂いた収入。
- ⑥企業との取り組み
(株)よみうりランド、ヤフー(株)、(株)大丸松坂屋百貨店、全国シャンメリー協同組合クリスマスイベントのプロデュース代として頂いた収入。
- ⑦寄付
活動にご賛同頂いた皆さまからの寄付金。
- ⑧クラウドファンディング
「ネパールの子ども達に夢と笑顔を!ネパール支援プロジェクト」で、クラウドファンディングサービス「makuake」で頂いた寄付金。本寄付金については、コーヒー豆の輸入、加工代金、パッケージ制作費、送料、ネパールツアーを企画・運営するスタッフの渡航費用の基金となります。
- ⑨イベント登壇
チャリティーサンタを多くの人に知ってもらい、「サンタクロースのような人を増やす」ためにを行っている講演活動で頂いた収入。
- ⑩Yahoo! ネット募金
児童養護施設の子ども達に、サンタさんから特別なクリスマスサプライズをするために頂いた寄付金。Yahoo! ネット募金で預かったお金は、全額子どもたちのために使用します。

NPO 法人化後の活動費とチャリティー金について

NPO法人チャリティーサンタでは、活動開始当初から、明瞭で透明性のある収支報告を目指しています。12月24日に、ご家庭へ訪問する際に預かったチャリティー金をできるだけ多く、支援活動に使うような運営を心掛けています。最終的には「クリスマスイブに預かったチャリティー金は、全額支援活動に使えるようにすること」を目指していますが、まだその理想には至っていません。

なお、全国の支部の活動運営費（サンタ説明会・講習会などの場所代、報告書の送料、チラシの印刷費、保険料、消耗品費など）については、ボランティア参加者から参加費を頂いたり、運営費として使うための寄付を頂くことで賄い、チャリティーからの支出を必要最低限に抑えるように努めています。NPO法人化後も、この方針は変わりません。

一方で、どんどん広がっていくこの活動をずっと続けていくため、ビジョン・ミッション(P.03 参照)を叶えていくために、代表理事の清輔と事務局の城田が常勤スタッフとなりました。この人件費は、新たに始めた事業収入などから賄うようにし、

上記のチャリティー金からは、一切出さない方針です。団体としては、中長期の活動計画・経営計画を作った上で、事業収入やサポタクロース収入を増やしていくことで運営体制を整え、サンタ活動や支援活動をより良いものにしていくと計画しています。

「世界中の子どもたちを笑顔にしたい」その想いから始まったチャリティーサンタは、これからも想いは変わらず、想いやりで世界をつないでいきます。これからも変わらぬ応援のほど、よろしくお願いいたします。

※上記の収入・支出は、限られた紙面の中で、なるべくわかりやすく項目を分けて、掲載している情報です。NPO 法人としての正式な会計報告については、内閣府 NPO ホームページ、並びにチャリティーサンタ公式 Web サイト上での報告をさせていただきますので、詳しくはそちらをご参照ください。ご不明点などございましたら info@charity-santa.com までお問い合わせください。また、2014年度に預かったチャリティー金は、主に 2015年度の支援活動(福島、ネパール)に使わせて頂きます。



全国 1775 人の サンタさんの服は どうやって準備しているの？

チャリティーサンタでは、サンタの衣装を 完全オリジナルで作成しています。



当初は、市販の衣装を一部カスタマイズすることで対応していた私達。しかし、より本物のサンタクロースになるために…と試行錯誤した結果、「自分たちが求めるものをつくること」がベストだと確信。

しかし、私達だけでは生産はとてもできません。そんな中、パートナーとなってくれたのが、メゾピアノ・ポンポネット・リンジなどを全国展開する子ども服メーカー、(株)ナルミヤ・インターナショナル様でした。

同社とは、生産部門の部長の全面協力の元、素材選びから、どんな人でも合うサイズ調整、ひげや眉毛の毛選び、ベルトの厚さ調整など、細部に至るまでこだわって開発しました。試作の段階でも何度も調整を重ね、素晴らしい衣装ができました。

ナルミヤ社とは、引き続き「より本物のサンタ衣装」を目指した衣装開発を進めつつ、新たな協働の可能性を模索しています。



ナルミヤ社の前田様、
玉川様との打合せ

《補足》ナルミヤ社と並行してネパールにある YAMA という工場とも衣装作りにおいて協力しています。ネパールで生産される衣装は寄付つき衣装となっており、衣装を生産して発生した収益の一部がネパールの NGO ブルーボビーを通じてネパールの子ども達への学資支援となっています。



衣装の一着オーナー受付中！

チャリティーサンタの活動において、「より本物のサンタ衣装」の生産、管理費が支出部門の多くを占めています (P.11 参照)。衣装不足で訪問できない！などということがないように、現在は「5,000円で世の中にサンタを一人増やせる、衣装オーナー制度」を設け、「1着オーナー」を

募集しています。衣装は活動で使われ、お手元には「オーナー証明証や活動報告書、限定グッズなど」をお届けします。応援してくださる方は、info@charity-santa.com宛に、一着オーナーの詳細希望と明記の上、メールにてお問い合わせください。